

平成 26 年度 施策評価シート

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが便利で安心して通勤通学できるように、また、高齢化の中で、高齢者等が社会参加できるように、「みんなの交通環境」の整備に取り組みます。</li> <li>・路線バス等については、二宮町地域公共交通計画に基づき既設バスルートを検証や新交通システムの検証(実験)運行等を実施します。今後の検討にあたっては、高齢者や障がい者をはじめ誰もが安全に安心して移動できるように、バリアフリーに配慮します。</li> </ul>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) ユニバーサルデザインの普及	1	B
(2) 道路の整備と管理	1	A
(3) 地域交通の充実	1	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化の推進には町の各部署を始め、国、県、民間事業者等の連携が必要となる。</li> <li>・道路改良維持補修の地区要望の増加しているため、対応策の検討が必要となる。</li> </ul>	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する                  B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する                  C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある                  D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<p>・バリアフリー化は徐々に進んで来ているが、車いすが必要な方、あるいは目や耳に障がいがある方などが、不自由さを感じることなく町内を移動するためには、段差の解消や歩道の充実等を更に行う必要がある。</p>
	方向性	<p>・道路や施設等の新設や改修を行う際には、車いすが必要な方、あるいは目や耳が不自由な方などが移動する際に、出来るだけ不自由さを感じることのないようにしていく。また、快適な道路網の充実を図るため、未整備道路等への道路整備事業を推進する。</p>

◎最終評価者[庁内評価委員会]

<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する                  B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する                  C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある                  D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
意見等	<p>【コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備】の項目の内、《(1)ユニバーサルデザインの普及》については、ユニバーサルデザインの考え方を普及する目的となるため、《協力と支え合いによる福祉のまちづくり》への項目移動が適当である。事業については、まちづくりと交通環境整備を一体とした事業推進をはかっていく必要がある。</p>